



「いまばり海の駅」ワークショップ

今治市では平成22年7月18日に「いまばり海の駅」と「みやうら海の駅」を開港しています。しかし港自体に市民が訪れないことから、市民の方々に周知されていないのが現状です。みなと再生プロジェクトとリンクし、海の駅の可能性を考えるため、今治出身の学生を集めワークショップを開催しました。コーディネーターとして今全国で活躍しているコミュニティデザイナーの山崎亮(studio-L)さんを迎え市民・学生とともにアイデアを出し合いました。

実施内容

日時：8月24日(金)~26日(日) 3日間
 場所：愛媛県今治市 港湾ビル4F
 主催：今治市中心市街地再生協議会 みなと部会
 協力：今治ヨットクラブ
 講師：山崎 亮 (studio-L)
 神庭慎次 (studio-L)

参加者

山崎 路 愛媛大学大学院 農学研究科2年
 白石 雄大 信州大学大学院 理工学系研究科環境機能工学1年
 村上 里奈 高知大学 教育学部生涯教育課程生活環境コース3回生
 菅 直行 千葉大学 工学部建築学科3回生
 八木 惇治 愛媛大学 工学部電気電子工学科3回生
 山本 友紀 九州大学 芸術工学部環境設計学科4回生
 越智裕加里 松山大学 人文学部社会学科3回生
 越智 朋美 松山大学 経済学部経済学科2回生
 濱田あすか 愛媛大学 法文学部人文学科2回生

スケジュール

<1日目>
 13:00-13:30 開会式 オリエンテーション
 13:30-14:30 みなと再生の経緯 みなと部会
 14:50-15:50 班編成 自己紹介 アイスブレイク
 15:50-17:20 みなと散歩 フィールドワーク
 17:20-18:20 ワーク1 みなとの印象
 18:30 懇親会
 <2日目>
 10:00-12:00 ワーク2 海の駅コンセプト
 13:00-16:00 今治周辺ヨットクルージング
 16:30-17:00 発表 集約 山崎亮
 17:00-18:50 ワーク3 オリジナル性の追求
 19:00- 案の作成
 <3日目>
 10:00-16:00 案の作成
 16:00-17:00 各班発表
 17:00-17:30 閉会式



静×動+愛着=海の駅 ~Collaboration is freedom~

- ①海の駅に交流を産むためには何が必要かというソフト面のアプローチを議論の基本とする。
- ②船だけにとらわれず、自転車・車で訪れた人にも交流をしてもらえるシカケを提案。
- ③みなとの訪問者のための『シェアハウス』
 1F / オープンスペース
 吹き抜けでお互いの存在をリアルに感じる空間
 ○情報交換スペース設置 今治のおもしろい人の紹介「人図鑑」
 ○カウンターでは飲み物・軽食を提供 昼一休憩所・語り場 夜-Bar 兼交流所
- 2F / 宿泊スペース
 共用のコインロッカーやシャワー・トイレ完備
- 3F 屋上 / フリースペース
 ハンモックでお昼寝・定期的にイベント開催
- ④コンテナを利用した共用スペースの展開も視野に
- ⑤自転車の方は広場を使ってキャンプ
- ⑥車(キャンピングカー)は寝るのは車、あとはシェアハウス
- ⑦これら訪れる人々が一つの風景となる。



会おう つながる 発信する ~Float Island~

- ①海で出来ること陸で出来ることを分けてみる
 海※ポート市※釣り堀
 陸※子どもの遊び場※学生の勉強の場※おんまく
 ※朝市※商店街とのつながり※発表会
 ※親子の想いでつくる場※語り場
- ②廃船を使い浮島をつくる。浮島と浮島を透明の栈橋で結ぶ。夜になればライトアップ。
 ⇒水上に浮かぶ島とそれをつなぐ道で幻想的な空間を作り出す。
 ○浮島は自走式と固定式のを分けて配置
 ○内港内の廃船の整理のキッカケになる
 ○大きさやつなぎを変えることでみなとに変化
- ③インパクトのある浮島は全国でも注目をあびる場
- ④海上ウェディング
 ○しまなみ海道をバックに式を挙げるができる
 ○送迎は船！祝福の汽笛が響く！
 ○海上だからこそ魅力
 ~今治の海で、今治ならではの風景の中で、全国から訪れる船乗りさん、
 また今治に住む人が2人の幸せを祝福します。~

